

自衛隊は ISのテロと どう戦うのか

イスラム国

西村金一 Nishimura Kinichi
岩切成夫 Iwakiri Shigeo
末次富美雄 Suetsugu Fumio



新安保法、施行 無法集団に

捕らわれた日本人は、

こう救出される!

元陸上自衛隊の情報分析官・
元航空総隊幕僚長・元護衛艦艦長の
空・海のエキスパートが

予測!

祥伝社新書

自衛隊はISのテロとどう戦うのか

西村金一
岩切成夫
末次富美雄

安全保障

祥伝社
新書

466



9784396114664



1920231008400

ISBN978-4-396-11466-4

C0231 ¥840E

定価：本体840円+税

祥伝社

西村金一

にしむら きんいち

1952年生まれ。法政大学卒業後、第1空挺団、幹部学校指揮幕僚課程修了。防衛省・統合幕僚部・陸上自衛隊・情報本部の情報分析官を務め、第12師団第2部長、幹部学校戦略室副室長。退官後は軍事アナリストとして各種委員会で活躍。執筆活動の他、テレビ出演なども多い。

岩切成夫

いわきり しげお

1952年生まれ。防衛大学校卒業。大韓民国防衛駐在官、第8航空団飛行群司令、航空総隊司令部防衛部長、航空総隊幕僚長を務める。退官後は航空作戦、安全保障戦略等の専門家として活躍。『現代用語の基礎知識』の〈防衛〉を共同執筆。

末次富美雄

すえつぐ ふみお

1955年生まれ。防衛大学校卒業。護衛艦「しらね」士官、「あきぐも」艦長を経て、シンガポール防衛駐在官、第27、第63及び第3護衛艦司令官、海上自衛隊情報業務群司令。退官後は海上作戦、情報戦等の専門家として活躍。

「ここで重要なことは、日本人の生命を守るためには軍事力の行使も辞さないという覚悟が、国家と国民にあるかということである。国際的には自国民保護のために軍事力を行使することは、国家の責任として最終的に担保されている。」

やるかやらないかは、拘束している勢力や当該国との関係から高度な政治的判断を必要とすることは言うまでもないが、最終的な手段としてあり得ると認知されていることが重要である」

〔おわりに〕より